

# 第3学年 道徳科学習指導案

1組 計33人(男子16人, 女子17人)

指導者 諸平幸奈

## 1 主題名 相手とわかり合って【B 相互理解, 寛容】

教材名「心をしずめて」(日本文教出版3年)

## 2 本主題で育成を目指す「未来の創り手に求められる資質・能力」

創造力	道徳的価値と関係付けながら相手と分かり合うことについて考え, 互いに気持ちよく過ごすための理解を広げたり深めたりする力
協働力	友達との「学び合い」や教師とのやりとりを通して, 相手と分かり合うために大切なことについての自分の考えを深めていく力
振り返る力	相手と分かり合うために大切なことは何かを考えることを通して, 自分の思いを伝えたり, 相手の思いを聞いたりすることの大切さに気づき, これからの学習や実生活に生かそうとする力

## 3 ねらいとする道徳的価値について

### (1) 内容項目とその系統

【第3学年及び第4学年】  
自分の考えや意見を相手に伝えるとともに, 相手のことを理解し, 自分と異なる意見も大切にすること。

【第5学年及び第6学年】  
自分の考えや意見を相手に伝えるとともに, 謙虚な心をもって, 広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。

【中学校(相互理解, 寛容)】  
自分の考えや意見を相手に伝えるとともに, それぞれの個性や立場を尊重し, いろいろなものの見方や考え方があつたことを理解し, 寛容の心をもって謙虚に他に学び, 自らを高めていくこと。

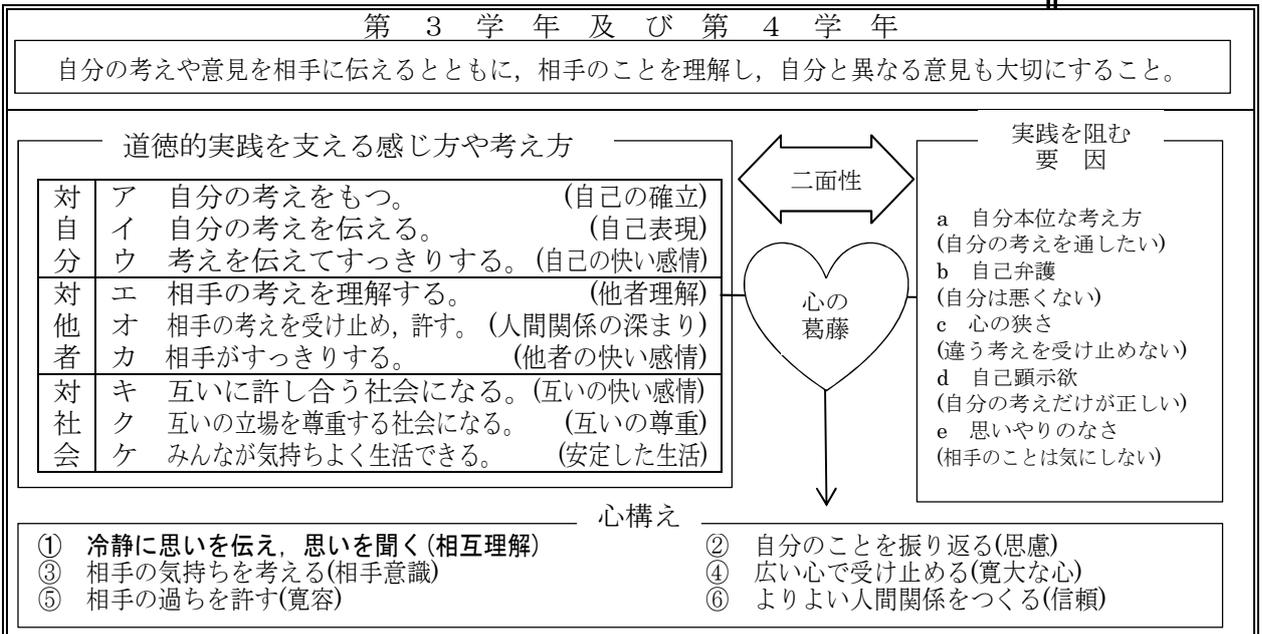
### (2) 指導内容についての基本的な立場

「相互理解」とは, 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに, 自分とは異なる意見や立場でも広い心で受け止めて相手への理解を深めることである。「寛容」とは, 寛大な心をもって他人の過ちを許すことである。ここでは, 広がりと深まりのある人間関係を築くために, 自分の考えを相手に伝えて相互理解を図るとともに, 謙虚で広い心をもつための大切な考え方を身に付けていくこととなる。

この期の子供たちは, 自他の立場や感じ方, 考え方などの違いをおおむね理解できるようになるが, ともすると違いを受け止められずに感情的になったり, それらの違いから対立が生じたりする場合もある。

そこで, 本主題では, 望ましい人間関係を構築するためには自分の考えや意見を冷静に相手に伝えるとともに, 自分と異なる意見について冷静に聞くことができるようにする。これらのことにより, 相手の思いを聞き, 相手への理解を深め, 自分も更に相手からの理解が得られるように思いを伝えることで, 相互理解しながら人と関わっていかうとする態度を育てる。

### (3) 本主題の指導内容及び道徳的価値の構造



(4) 全体計画(別業)における本主題の位置付け

〈本校の道徳教育の目標〉	よいことと悪いことの区別を主体的に判断し、生命ある全てのものを大切にしようとする子供を育てる。
〈重点目標(中学年)〉	日常生活に必要な社会性や集団生活への適応性を養い、自立しようとする態度を育てる。
〈子供の実態〉	相手のことを考えず自分本位に行動してしまい、互いに気持ちよく過ごせないことがある。

〈テーマ〉互いに気持ちよく過ごすために、大切なことは。

教科等	主な学習活動	知識の理解の質の高まり	
朝の活動 10月	互いに気持ちよく過ごすことに関わる自分の課題や大切にしたいことを明確にする。	自分は、相手の気持ちを考えずに自分の思いばかりを伝えてけんかになることが多いな。相手のことを考えればいいのか。	
道徳科 10月 「相手を思って」 【B 親切, 思いやり】 『バスの中で』	相手が困っていることや悲しいことを自分の事として想像し、進んで親切にするために大切な気持ちを考える。	相手が困っているのではないかと考えて親切にすると、相手が喜んでくれてうれしい。	相手のことを考える
道徳科 10月 「自分に正直に」 【A 正直, 誠実】 『まどガラスと魚』	正直にできないときの後ろめたさや苦しさについて考え、正直に明るい心で元気よく生活しようとする気持ちを考える。	正直に言うと自分も相手もすっきりするんだな。間違ふことは誰にでもあるから、素直に反省したい。	相手のことを考える 自分のことを振り返る
道徳科 11月 「相手とわかり合って」 【B 相互理解, 寛容】 『心をしずめて』	冷静に自分の思いを伝えたり、相手の思いを聞いたりして、分かり合おうとするために大切なことを考える。	怒らないで、自分の思いを伝えたり、相手の思いを聞いたりすることで、相手と分かり合っていけそうだな。	冷静に相手のことを考えたり、自分を振り返ったりする
朝の活動 12月	互いに気持ちよく過ごすために大切にしたいことを振り返る。	相手の立場になって考えたり、感情的にならず、落ち着いて話し合ったりして、互いに気持ちよく過ごしていきたいな。	

【他教科等との関連】

体育科 10月 「ボール運びゲーム」 ・ 勝つための作戦をチームで話し合い考える。	学級活動 11月 「昼休みの遊びを考えよう」 ・ 話し合いで昼休みの遊びを決める。	外国語活動 12月 「This is for you.」 ・ 欲しいものを尋ねて、カードを送る。	学校行事「人権教室」 12月 ・ いじめ問題に関するDVDを見たり、人権擁護委員の話の聞いたりして、考えを交流する。
-------------------------------------------------	-------------------------------------------------	--------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------

【家庭や地域社会との連携】

テーマに関わる自分の課題や道徳科の授業等で考えたことについて、家庭で話題にしてもらい、互いに気持ちよく過ごすために考えたことを保護者に価値付けてもらう。

4 子供の実態について

(調査人数 33人 重複あり 令和元年8月1日)

(1) 本主題に関する経験場面①

思いを伝えたり聞いたりできた経験	人数
伝える	19
聞	20
く	1

(2) 本主題に関する経験時の気持ち①

思いを伝えたり聞いたりできたときの気持ち	人数
伝える	14
聞	11
く	2

(3) 本主題に関する経験場面②

思いを伝えたり聞いたりできなかった経験	人数
伝える	20
聞	14
く	4

(4) 本主題に関する経験の理由

思いを伝えたり聞いたりできなかった理由	人数
聞	10
伝える	6
く	1

(5) 道徳的価値の意義

相手と分かり合うことによる意義	人数
お互いの考えが分かる	9
すっきりする	5
考えがよりよくなる(新しい考え)	5
話し合える相談	4
助け合える	4
仲よくなれる	4
自信がもてる	1
お互いにうれしくなる	1

(6) 道徳的価値に対する心構え

相手と分かり合うためにどんな気持ちが大切か	人数
相手の話を聞く(目を見て)	6
考えを言ったり、聞いたりする	6
みんなにやさしくしよう(思いやり)	5
相手のことを考える	5
考えをよりよくしよう	1
自分も相手も大切にしよう	1
わからない	8

(1), (2)から、授業中や遊んでいるときなどに自分の考えを伝えたり、相手の考えを聞いたりしたことがある子供が多く、相手と分かり合ってよい気持ちになった経験がある子供が多いことが分かる。(3)から、自分の考えを伝えることができなかった経験は少ない子供が多いが、相手の考えを聞くことができなかった経験がある子供が半数以上いることが分かる。(4)から、話をする気分ではないという自分の心の調子で行動したり、自信のなさから思いを伝えたり聞いたりすることを恥ずかしいと感じたりしている子供が多いことが分かる。(5), (6)から、相手と分かり合うことによる意義は分かっているが、実現するための心構えまでは考えることができない子供がいることが分かる。

これらの実態から、感情的にならず、自分の考えを伝えたり、相手の考えを聞いたりすることが相手と分かり合うことにつながることを考えさせ、自分の生活場面でも生かしていこうとする実践意欲を高める必要がある。

## 5 教材について

### (1) 教材のあらすじ

ともみは、仲よしのあき子のために秘密で誕生日プレゼントを準備していた。しかし、その日の図工の時間、ともみが一生懸命に描いていた絵が、あき子によって汚されてしまう。わざとではないが、謝るあき子のことを受け止められず、ともみは怒ってしまう。昼休みにもあき子が謝りに来たが、話を聞くこともせず、もめたまま帰宅した。自分の部屋にいてもみは、あき子からのプレゼントの貯金箱を見て、じっとしていられなくなり、あき子の家へ走り出す。

### (2) 資料の分析・反応予想

場面	分析(価値構造図より)	予想される子供の反応
1 一生懸命描いていた絵を汚されて、謝られても受け止められないともみ【心の弱さ】	a 自分本位な考え方(自分の考えを通したい) c 心の狭さ(違う考えを受け止めない) e 思いやりのなさ(相手のことは気にしない)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• せっかく上手に描けたのにひどい。</li> <li>• もう元には戻せないんだ。</li> <li>• あき子でも許せない。</li> </ul>
2 家に帰りあき子からもらった貯金箱を見て考えるとともみ【後悔】	ア 自分のことを振り返る。(対自) エ 相手の考えを理解する。(対他) ケ みんなが気持ちよく生活できる。(対社) <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> ① 相互理解      ② 思慮 ③ 相手意識      ⑥ 信頼	<ul style="list-style-type: none"> <li>• あき子にひどいことをしてしまった。</li> <li>• 何であんなに怒ってしまったんだろう。</li> <li>• ちゃんと自分の思いを伝えよう。</li> <li>• あき子の思いをしっかりと聞こう。</li> </ul>

### (3) 教材の活用

本教材は、日常場面でよくある仲よしの友達との関わりが描かれており、子供たちが共感しやすい内容となっている。また、どうしても許せないと思っていたが、自分のことを振り返り自分の言動がよかったかどうか考えるとともみの姿を通して、相手と分かり合うためにどのようなことが大切かということについての考えを深めることができる話である。謝っているあき子のことを許せずにいてもみが、自分の部屋にあったあき子からのプレゼントを見つめ、心をしずめて相手と向き合おうとし、その後、二人がどのような会話をするか考えることで、相手と分かり合うためには、感情的にならず、自分の思いを伝えたり、相手の思いを聞いたりすることが大切だと気付くことができるように本教材を活用する。

## 6 指導に当たって

### (1) 「自分の問い(自分のめあて)」をもたせる教師の手立て

「気付く」過程で、「遊ぶ約束が守られず、けんかになってしまった」という教師の子供時代の日記を紹介し、相手のことを考えず、分かり合えていないということに気付くことができるようにする。その後、自分の経験を想起させることで、相手と分かり合うために大切にしたいことを考えたいという問題意識を高め、「自分の問い(自分のめあて)」をもつことができるようにする。

### (2) 「学び合い」を活性化する教師の手立て

「見つめる」過程で、あき子の家でともみとあき子がどのような話をするか考えさせ、役割演技を行う場を設ける。ともみがあき子にどのような言葉を掛けるのか考えることで、「互いにすっきりする」、「更に仲よくなれる」などの分かり合うことのよさに気付くことができるようにする。また、ともみとあき子、どちらの立場も演技をして心情を捉えたり、感情メーターでともみの感情の高まりを学校でけんかをしてしまったときと比べたりすることで、冷静に自分の思いを伝えることや相手の思いを聞くことが、分かり合うことにつながるということにも気付くことができるようにする。

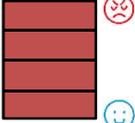
### (3) 学びを振り返り、学びを価値付ける教師の手立て

「深める」過程で、本時で考えた大切にしたいことをまとめる時間を設ける。その際、自分のめあてを振り返ることで、今までの自分を振り返ったり、道徳的価値に関する考えをより深めたりすることができるようにする。また、「高める」過程で、導入で想起した相手と分かり合えなかった場面を再度提示し、本時で考えたことを生かしながら、日記を書いた人へのアドバイスを考える。そうすることで、感情的にならず、自分の思いを伝えたり、相手の思いを聞いたりすると、相手と分かり合えそうだという道徳的価値の理解を深めたり、実践意欲を高めることができるようにする。

7 本 時

- (1) **ねらい** 相手の過ちを許せず感情的になってしまった後悔の気持ちを考えることを通して、冷静に自分の思いを伝えようとしたり、相手の思いを聞こうとしたりすることのよさに気づき、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にしようとする態度を育てる。

(2) **展 開** □ 教師の言葉掛け □ 子供の反応 ◆ 重点評価項目

過程(分)	主な学習活動と予想される子供の反応	教師の指導						
<p>気 付 く (5)</p>	<p>1 相手と分かり合えなかった際の日記を聞き、今までの経験を話し合う。</p> <p>相手と分かり合えなかったことはありませんか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>みんなで遊ぶ日になかなか遊びが決まらなかったな。</li> <li>お母さんが言っていることを聞かずに自分の思いだけを伝えてしまったな。</li> <li>どうすれば互いに思いを分かり合っているかな。</li> </ul> <p>2 本時のめあてを立てる。</p> <p>相手とわかり合うためには、どのようなことを大切にすればよいだろうか。</p> <p>3 教材文を読み、ともみの気持ちや相手と分かり合うために大切にしたいことについて話し合う。</p> <p>(1) 学校でのともみの気持ちについて話し合う。【人間理解】</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>せっかく一生懸命描いていたのにひどい。</li> <li>ごめんねと言われても絵は元通りにはならない。</li> <li>あき子に何を言われても聞きたくない。</li> </ul> <p>(2) 貯金箱を見つめるともみの気持ちについて話し合う。【価値理解】 【他者理解】</p> <p>あき子にもらった貯金箱を見つめながらどのようなことを考えていたのでしょうか。</p>	<p>○ 相手と分かり合えなかった経験が書かれた日記から互いの考えを言い過ぎてしまうことを想起させ、相手と分かり合うために大切にすることを考えたいという問題意識を高めることができるようにする。</p> <p>○ 学校でのともみの気持ちを考えることで、相手の過ちを許せず感情的になってしまう心の弱さを捉えることができるようにする。その際、感情メーターで感情の高ぶりを示すことで、視覚的に捉えやすくする。</p> <p>○ あき子にもらった貯金箱を見つめながらともみが考えていることを話し合う場を設ける。その際、事前の道徳の学習で考えたことを生かし、「相手のことを自分の事として考えること」【B 親切, 思いやり】、「自分の行動を振り返り、正直になること」【A 正直, 誠実】等の考えがある場合は取り上げ、相手と分かり合うための考えを多面的・多角的に捉えることができるようにする。</p>						
<p>見 つ め る (28)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あき子にひどいことをしてしまった。</li> <li>もっとあき子の気持ちを考えればよかった。【B 親切, 思いやり】</li> <li>自分も間違ふことがあるのに、ひどいことをしてしまってごめんねと素直に話をしよう。【A 正直, 誠実】</li> </ul> <p>(3) あき子の家でどのような話をするか考え、話し合う。【価値理解】 (役割演技)</p> <p>ともみは、あき子の家でどのような話をすると分かり合えるでしょうか。</p> <table border="1" data-bbox="279 1377 1029 1601"> <tr> <td data-bbox="279 1377 422 1422">ともみ</td> <td data-bbox="422 1377 758 1601"> <ul style="list-style-type: none"> <li>話を聞かなくてごめんね。もう一度話してくれないかな。</li> <li>怒ってしまってごめんね。でも、一生懸命描いたから、とても悲しかったの。</li> </ul> </td> <td data-bbox="758 1377 1029 1601">あき子</td> </tr> <tr> <td data-bbox="279 1444 422 1601">  </td> <td></td> <td data-bbox="758 1444 1029 1601"> <ul style="list-style-type: none"> <li>わざとではないけど、大切な絵を汚してしまってごめんね。</li> <li>悲しい気持ちは分かるけど、無視されるととても辛かったよ。</li> </ul> </td> </tr> </table> <p>お互いが自分の思いを伝えたり、相手の思いを聞いたりすると、仲直りできそう。 お互いに落ち着いて話すことで、分かり合えてスッキリする。</p>	ともみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>話を聞かなくてごめんね。もう一度話してくれないかな。</li> <li>怒ってしまってごめんね。でも、一生懸命描いたから、とても悲しかったの。</li> </ul>	あき子			<ul style="list-style-type: none"> <li>わざとではないけど、大切な絵を汚してしまってごめんね。</li> <li>悲しい気持ちは分かるけど、無視されるととても辛かったよ。</li> </ul>	<p>○ あき子の家でともみとあき子がどのような話をするか考えさせ役割演技を行う。その際、どちらの立場でも考えたり、感情メーターで感情の高まりを最初と比べてすることで、冷静に自分の思いを伝えることや相手の思いを聞くことが分かり合うことにつながると気付くことができるようにする。</p> <p>○ 本時の振り返りをする際、自分のめあてを振り返ることで、今までの自分を振り返ったり、道徳的価値に関する考えをより深めたりすることができるようにする。</p>
ともみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>話を聞かなくてごめんね。もう一度話してくれないかな。</li> <li>怒ってしまってごめんね。でも、一生懸命描いたから、とても悲しかったの。</li> </ul>	あき子						
		<ul style="list-style-type: none"> <li>わざとではないけど、大切な絵を汚してしまってごめんね。</li> <li>悲しい気持ちは分かるけど、無視されるととても辛かったよ。</li> </ul>						
<p>深 め る (5)</p>	<p>4 互いに気持ちよく過ごすために大切なことについて考える。</p> <table border="1" data-bbox="279 1780 1029 1859"> <tr> <td data-bbox="279 1780 654 1859">怒らずに、まずは相手の話を聞きたい。</td> <td data-bbox="654 1780 1029 1859">自分の思いも伝えつつ、相手のことも分かろうとしたい。</td> </tr> </table>	怒らずに、まずは相手の話を聞きたい。	自分の思いも伝えつつ、相手のことも分かろうとしたい。	<p>◆ 冷静に自分の思いを伝えることや相手の思いを聞こうとするための考えを、自分と関わりで考えているか。【発言, ワークシート】</p>				
怒らずに、まずは相手の話を聞きたい。	自分の思いも伝えつつ、相手のことも分かろうとしたい。							
<p>高 め る (7)</p>	<p>5 本時で大切にしたいことを生かしながら、導入時に想起した場面でどのようなアドバイスをするか考える。</p> <p>友達の考えも聞いてみたらどうか。だって、相手も強く言われたら辛いし、分かり合えないよ。</p> <p>互いに納得できるようにするために、いらいらしてもそれをぶつせず、じっくり話をしてみたらどうか。</p>	<p>○ 導入時の場面を再度提示し、本時で考えたことを生かしながら、どのようなアドバイスをするか考える。そうすることで、これからも相手と分かり合いたいという実践意欲を高めることができるようにする。</p>						

自分の問い(自分のめあて)

「学び合い」(磨き合い)の活性化

学びの振り返りと価値付け

